

○地域の自治会連合会との意見交換会の開催について

1. 開催日時・場所

令和元年9月28日（土）10時50分～11時40分
高根公民館 第1、第2集会室

2. 説明・対応者

教育委員会管理部長、教育総務課長、指導課長、教育総務課副主幹、教育総務課係員

3. 参加者数

高根・金杉地区自治会連合会 町会・自治会長 約30人

4. 内容

（1）金杉台中学校の現状と検討経過についての説明

金杉台中学校の現状と、教育委員会としては「統合が望ましいと考える」に至ったこれまでの検討経過、今年度の取組、仮に統合となった場合の学校施設の有効活用を検討することについて、教育委員会から説明しました。

地域との意見交換会や現在行っているアンケートの集計結果を、11月以降に地域説明会を開催し報告すること、意見を伺いながら検討を行い、年度末までに統合についての方向性（方針）を決定したいと説明しました。

（2）質疑応答・意見交換

質疑応答・意見聴取として、7人の方に質疑・意見を述べていただきました。

【主な質疑・意見の主旨】

（学区・推計・宅地開発）

- ・金杉台団地の建て替え、日大の土地、戸建ての分譲がありうる地域であるなど、住民や子供が増える可能性もある。教育委員会とまちづくりの関係者が連携してほしい。（4人）
- ・90世帯の戸建てを高根小学校ではなく金杉台小学校・金杉台中学校の学区にすれば、金杉台中学校が増えるのではないか。（3人）

（統合）

- ・統合することは経済的にみても当然。もっと説明する努力をして、なくさないでほしいという人たちと折り合いをつけてほしい。行政が一方的に「統合します」というのは避けてほしい。
- ・統合は理解できる。学校がなくなってしまうという本音はあるが、金杉台中学校の良さを御滝中学校にぜひ取り入れ、平穩に教育を受けられる機会を作ってい

ただきたい。

- ・少数精鋭で立派に子供たちが育つのか心配。大勢の中で色々な友達と知り合えるほうがいい。(3人)
- ・御滝中学校の校舎が不足しないのか。(2人) 不足となった場合にまた金杉台中学校にとはならないか。(2人) 御滝中学校の学級数が増え、先生の目が子供に行き届くか。
- ・統合となった場合、制服について家庭の負担が増えないように。
- ・統合を決めたら統合まで、新入生を受け入れないのか。
- ・子供たちのことを一番に考えてほしい。
- ・子供たちの生活パターンの変化により、地域での犯罪など影響はないか。

(跡地)

- ・跡地の利用が一番心配。利用方法を早く決め、防犯上、統合後から跡地利用までのそのままにする期間を短くしてもらいたい。(2人)

※意見交換会終了時に「ご意見等記入用紙」を14枚回収しました。主旨に基づきまとめると、1枚につき複数の意見を含みますが、以下のとおりです。

○当日の説明内容に関するご意見

「御滝中学校との統合が妥当・理解している」4件

「地域住民・学校の子供・保護者の意見を反映させること」3件

「宅地開発と教育委員会の連携や学区の調整を検討すべき」3件

○今後統合になった際の懸念等に関する意見

「跡地利用について」9件

「統合後の御滝中学校の設備面、職員体制面に不安」3件

「統合に反対」1件

※補足

質疑のなかで、「宅地開発と教育委員会の連携」について確認すると回答しました。一定条件の宅地開発事業は、事業者からの開発事前協議により、教育委員会にも開発戸数等の情報が入るため、児童生徒数の推計作成の参考にし、入居に伴う児童生徒数の増加から教室不足とならないよう、地域の状況を把握しております。